

「ゴレンジャー」など昭和の人気レンジャーから最新作「シンケンジャー」まで夢の競演！
「データカードダス スーパー戦隊バトル ダイスオー」2010年春稼働開始
～ 2010年新春イベント「ガンバライドクエスト」での試遊体験会も決定！～



(左)データカードダス専用カード (中央)商品ロゴ (右)筐体 ©石森プロ・テレビ朝日・東映 AG・東映 ©BANDAI 2009

株式会社バンダイ(本社：東京都台東区、社長：上野和典)は、デジタルデータとカードゲームを融合させたカードエンターテインメントマシン、データカードダスの新タイトル「データカードダス スーパー戦隊バトル ダイスオー」(1プレイ1枚100円、2プレイ2枚200円/税5%含む)を、2010年春より稼働開始いたします。設置場所は、全国の玩具店、百貨店・量販店の玩具売場、およびアミューズメント施設です。

「データカードダス スーパー戦隊バトル ダイスオー」は、カードからデータを読み込んで遊ぶことができるデータカードゲームです。この商品は、データカードダス初の戦隊シリーズで、現在TV放映中の最新作「侍戦隊 シンケンジャー」(テレビ朝日系 毎週日曜あさ7時30分～)や、人気作「炎神戦隊 ゴーオンジャー」を中心に、「秘密戦隊ゴレンジャー」といった昭和の人気レンジャーが続々登場する対戦バトルゲームです。データカードダス史上最大の5対5のバトルが可能になったほか、筐体付属となる「ディスク」を回転させダイスゲームで勝負を決める新しいゲームとなっております。メインターゲットは、未就学児から小学生低学年で、親子二世代でお楽しみいただけます。



(左)データカードダス専用カード (中央・右上)ゲーム画面 (右下)ディスク
©石森プロ・テレビ朝日・東映 AG・東映 ©BANDAI 2009

■「データカードダス スーパー戦隊バトル ダイスオー」とは？

本作品では、歴代のレンジャー達が熱いバトルを繰り広げると共に、今まで競演したことの無かった戦隊が5人1組のチームを構成し、世代を超えて戦うドリームマッチを実現しました。プレイヤーは、5種類のカードを組み合わせながら、簡単なボタン操作で、レンジャーたちの白熱バトルを体験することができます。

また、CGとイラストを駆使した臨場感溢れるカードデザインは、コレクションとしてもお楽しみいただけます。

【特長①】データカードダス史上最大5対5の大迫力バトル！

好きなレンジャーのカード5枚を筐体にスキャンし、チームを組んでバトルします。組み合わせによっては、全く新しいオリジナル戦隊をつくり出すことも可能です。

攻撃シーンはバリエーション豊富に展開！レンジャーの組み合わせによって攻撃方法や必殺技が変化するため、遊べば遊ぶほど本作品の世界は広がっていきます。



(写真)ゲーム画面 ©石森プロ・テレビ朝日・東映 AG・東映 ©BANDAI 2009

【特長②】わかりやすいダイスゲーム！

子ども達にもわかりやすいダイスゲームで勝敗を決めます！レンジャーダイスをガンガンぶつけて、遊びを盛り上げます。ダイスをぶつけ合うことによって、シンプルかつ興奮のダイスゲームを実現しました。



(写真)ゲーム画面 ©石森プロ・テレビ朝日・東映 AG・東映 ©BANDAI 2009

【特長③】ド迫力のロボバトル！

ロボカードを筐体にスキャンすることで、ユーザーが任意でロボを呼び出し、重量感溢れるロボバトルへと突入します。レンジャーバトルがクライマックスを迎えた時など、ロボバトルを開戦するとボルテージも最高潮に！もちろんロボの必殺技も炸裂します。



(写真)ゲーム画面 ©石森プロ・テレビ朝日・東映 AG・東映 ©BANDAI 2009

【特長④】ディスクを回して爽快プレイ！

筐体には新たに、商品名ともなっている「ダイス(さいころ)」をイメージしたディスク(回転式入力デバイス)をデータカードダス筐体中央部分に設置します。このディスクを回転させると、ゲーム中の「ダイス」が回転し必殺技を発動したり、データカードダス初のロボバトルで勝敗を決めることができます。



(左写真)ディスク (右写真)ゲーム画面
©石森プロ・テレビ朝日・東映 AG・東映 ©BANDAI 2009

◆「データカードダス」とは？

データカードダスは、デジタルデータとカードゲームを融合させた新型カードエンターテインメントとして2005年3月より、バンダイとグループ会社であるバンプレスト(現バンダイナムコゲームス)の共同事業として、展開を開始しました。現在データカードダス筐体は量販店やアミューズメント施設を中心に全国で約20,000台設置されています。第1作目の「ドラゴンボールZ」以降「NARUTO-ナルト-」、「大怪獣バトル」、「アニマルカイザー」、「プリキュア」、「ワンピース」、「仮面ライダー」の現在全7シリーズを展開中で、小学生を中心に好評を博しており、全シリーズの累計販売枚数は約7億枚にのぼります。「データカードダス」マシンは、デジタルデータ付カードの購入ができる自販機であるとともに、購入したカードのデータを読み込んでデジタルデータと融合した遊びを提供することができるカードマシンです。データカードダス専用のカードにはバーコードが付いており、このバーコードのデータを筐体を読み取り、その情報をもとに、筐体に搭載されたゲームソフトで遊ぶことができます。(2009年11月末現在)

◆ バンダイカードダス主要年表

- 1988年 自動販売機専用商品「カードダス20」(1枚20円)の販売をスタート。
- 1990年 「カードダス100」(5枚1セット/100円)発売スタート。
- 2005年 データカードダス「ドラゴンボールZ」、続いて「NARUTO-ナルト-ナルティメットカードバトル」稼働開始。
データカードダス初の女兒向けコンテンツ「超ねんじゅーかいさい カードでおーえん！たまごっちカップ」、続いて「究極対戦！！デジモンバトルターミナル」「NARUTO-ナルト-ナルティメットミッション」稼働開始。
- 2007年 「大怪獣バトル ULTRA MONSTERS」に続き、(株)バンダイナムコゲームスとの共同事業による「百獣大戦 アニマルカイザー」や、2作目の女兒コンテンツ「うたって！プリキュアドリームライブ」稼働開始。
- 2008年 「ワンピーベリーマッチ」「仮面ライダーバトル ガンバライド」「NARUTO-ナルト-疾風伝 ナルティメットクロス」をリリース。
- 2009年 6月より「ドラゴンバトラーズ」、9月より「ワンピーベリーマッチダブル」をリリース。
- 2010年 春より「スーパー戦隊バトル ダイスオー」を稼働開始！

※ 写真に掲載されている筐体画面はハメコミ画像です。この資料に掲載されている筐体、商品、画面写真は開発中のものです。

※ 全て2009. 11. 27時点の情報になります。変更になる場合がありますのでご了承ください。

<商品概要>

■商 品 名 :「データカードダス スーパー戦隊バトル ダイスオー」

■メーカー希望小売価格 :1Pプレイ100円、2Pプレイ200円(税5%含む)

※100円につき必ずカードが1枚もらえます。

■販 売 ル ー ト:全国のデータカードダス用自動販売機

■発 売 日 :2010年春

■筐 体 サ イ ズ :166cm(H)×48cm(W)×66cm(D)

■カ ー ド サ イ ズ :86mm(H)×59mm(W)

■ゲ ー ム プ レ イ 時 間 :約5分

■ゲ ー ム 形 式 :1Pモード 1回戦形式 2Pモード 2人対戦

※プレイをせずにカードの購入のみも可能(1Pモード)

【ガンバライドクエスト に出展決定！】

2010年1月2日(土)～6日(水)、9日(土)～11日(祝・月)に池袋サンシャインシティ 文化会館4階 展示ホールBにて開催される「ガンバライドクエスト」にて、「データカードダス スーパー戦隊バトル ダイスオー」を稼働に先駆けどこよりも早く、試遊していただけます。また、来場者にはプロモーションカードを配布いたします。このカードは、筐体稼働時に、実際にお使いいただくことが可能です。

□一般の方のお問い合わせ／ガンバライドクエスト事務局 TEL 03-3567-8114

□ガンバライドクエスト 公式ホームページ URL: <http://www.ganbaride-quest.com/>

報道関係の方からのお問い合わせ先

(株)バンダイ カード事業部
福田・杉戸

TEL : 03-3847-5103

FAX : 03-3847-5149

一般の方のお問い合わせ先

(株)バンダイ お客様相談センター
TEL : 04-7146-0371

バンダイ ホームページ: <http://www.bandai.co.jp/>

「データカードダス スーパー戦隊バトル ダイスオー」のホームページ: <http://www.DICE-O.com/>